

第5章 津波・高潮ハザードマップ事例集

「津波・高潮ハザードマップマニュアル」では、津波・高潮ハザードマップの一般的な記載内容や表現方法について記述されている(マニュアル第4章)。本章では、より具体的なハザードマップの記載内容や表現方法の参考として、これまで全国で作成されたハザードマップのうち、代表的なものについて良い点・工夫、さらに改善すればよくなる点について検討会委員の意見等を踏まえ事例紹介する。

5.1 本章の見方

全国の海岸線を有する市町村で作成されている津波・高潮ハザードマップのうち、代表的な事例を 5.2 に示す。ページの右肩には市町村名、左下には事例番号(1～30)を付している(掲載事例及び事例番号については表 5.2.1 参照)。

各事例について作成概要(サイズ・形態、縮尺、整備主体、外力、浸水予測手法)を明記するとともに、今後ハザードマップを作成する整備主体が参考として、よい点・工夫している点、さらに改善すればよくなる点を注記(緑色表記)している。なお、さらに改善すればよくなる点について多くの事例に共通するものについては個別には注記せず表 5.1.1 にまとめているが、これらすべて対応すべきということではなく、あくまでも見やすさを考慮して、シンプルとすることが最も重要である。

また、本章で掲載している事例は、平成 16 年 8 月時点で収集したものであり、それ以降に整備されたハザードマップも多数存在することに留意が必要である。

表 5.1.1 さらに改善すれば良くなる点(多くの事例に共通するもの)

見やすさについて	<ul style="list-style-type: none">• 全体的にシンプルにすること• わかりやすいイラスト等を用いること
色彩について	<ul style="list-style-type: none">• 色使いについて工夫すること
掲載情報量について	<ul style="list-style-type: none">• 余分な情報は省き目的を絞って掲載すること
掲載内容について	<ul style="list-style-type: none">• 避難場所、主要施設の名称は図中に示すこと• 水平スケールや方位、等高線等を明記すること
サイズ・縮尺について	<ul style="list-style-type: none">• 自宅周辺の識別ができる詳細な地形図を背景に用いること• 避難場所の位置、避難誘導がわかる縮尺で作成すること• 自宅に掲示しやすいサイズで作成すること
地域住民による能動的な関わりについて	<ul style="list-style-type: none">• 住民による書き込み欄を設けるか書き込みを促すこと
浸水予測の掲載方法について	<ul style="list-style-type: none">• 予測浸水深を記載すること• 津波の前提条件を明記すること

5.2 代表的な津波・高潮ハザードマップの作成事例

表 5.2.1 掲載事例一覧

No.	道県名	市町村名	ハザードマップ名
1	北海道	静内町	防災避難マップ
2	北海道	新冠町	新冠町防災マップ
3	岩手県	田老町	津波防災マップ
4	宮城県	気仙沼市	気仙沼市防災マップ
5	宮城県	志津川町	地震 津波だ その時、あなたは！
6	宮城県	名取市	名取市津波浸水予測マップ
7	新潟県	佐渡市(旧両津市)	両津市防災ハンドブック
8	富山県	氷見市	氷見市防災マップ
9	静岡県	沼津市(沼津港周辺)	津波避難マニュアル
10	静岡県	沼津市(内浦地区)	津波避難マニュアル
11	静岡県	静岡市	地震だ津波だすぐ避難！
12	静岡県	榛原町	榛原町防災マップ
13	静岡県	御前崎市(旧御前崎町)	御前崎町ハザードマップ
14	静岡県	竜洋町	竜洋町ハザードマップ
15	静岡県	戸田村	戸田村地震防災マップ
16	三重県	紀伊長島町	紀伊長島町防災マップ
17	兵庫県	神戸市(魚崎地区)	魚崎町南海地震・津波防災マップ
18	兵庫県	神戸市(和田岬校区)	和田岬校区津波防災マップ
19	和歌山県	広川町	広川町津波避難地図
20	和歌山県	日高町	津波ハザードマップ
21	和歌山県	印南町	印南地区津波災害危険度 MAP
22	和歌山県	那智勝浦町	那智勝浦町津波防災マップ
23	山口県	山陽町	山陽町埴生地区高潮避難地区
24	徳島県	由岐町	由岐町津波避難マップ
25	徳島県	牟岐町	牟岐町防災マップ
26	徳島県	海部町	海部町防災マップ
27	高知県	土佐市	宇佐地区津波避難マップ
28	高知県	須崎市	須崎湾津波ハザードマップ
29	佐賀県	芦刈町	芦刈町高潮避難地図
30	大分県	米水津村	米水津村防災マップ